

防災・防火へ一致団結
消防出初式が行われる

美幌・津別広域事務組合津別消防署と津別消防団による合同出初式が、1月5日に行われました。

津別消防署前での開会式に続いて、役場庁舎前で観閲を実施。消防署員並びに消防団員が、消防車や救急車などの車両を伴い行進しました。

その後、町民会館に会場を移して特別功労章及び永年勤続章の表彰状伝達式が執り行われ、式に臨んだ消防署員・団員たちは、一致団結して火事や災害から町民を守る決意を新たにしました。



新年への希望を筆に込めて
第48回新春書初席書大会開催

1月5日、正月恒例の第48回新春書初席書大会（主催・津別町商工会青年部）が中央公民館で開かれ、町内の小学生と中学生が半切紙を前に腕を振りました。

参加者は、学年別に定められた「ひろい空」「美しい心」「雪深い春」などの課題の書に取り組み、見本を見ながら丁寧に仕上げて行きました。



引き続き審査が行われ、入賞した作品は網走信金津別支店、北見信金津別支店、津別郵便局、中央公民館の各ロビーに展示されました。

54名が大人の仲間入り
平成27年の成人式を開催

1月11日、中央公民館で平成27年の成人式が開催され、新成人54名が大人の仲間入りをしました。

式典では松平範慶教育委員長の式辞（代読）に続いて、佐藤多一町長、鹿中順一町議会議長などから祝辞が贈られました。

これに続いて、新成人代表の植松希里子さんと古澤大輝さんが成人の誓いを読み上げ、大人としての決意を表明。

北見室内管弦楽団によるミニコンサートや、小中学校時代の恩師、津別町応援大使となった北海道日本ハムファイターズの中田翔選手などからのお祝いメッセージビデオ披露もあり、出席者にとって思い出深い成人式となりました。



北海道日本ハムファイターズ
中田選手らが応援大使に

北海道日本ハムファイターズの中田翔選手と大嶋匠選手が、2015年の津別町応援大使に決定し、12月24日、球団担当者が来庁してサイン入りユニフォームなどが寄贈されました（写真）。

これは、同球団が道内の町おこしを応援する『北海道179市町村応援大使プロジェクト』の一環で、両選手には今年1年間津別町の応援大使として町のPRに協力していただくことになりました。

1月19日には、町民による実行委員会も設立され、町民からアイデアを募集し、町おこしを目指して行きます。

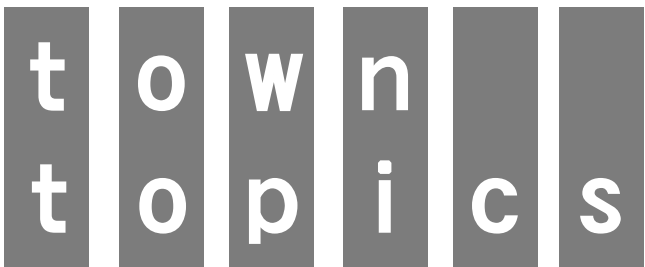


地域安全パトロールを実施
歳末特別警戒結団式

平成26年度歳末特別警戒結団式（主催 津別町・美幌警察署）が、12月16日、林業研修会館で行われました。

佐藤町長、江川清人美幌警察署長などの挨拶に続いて、津別町防犯協会の大江清一さんから活動内容の説明があり、参加者は歳末の防犯活動に向けて気を引き締めていました。

この後、年末にかけて津別町防犯協会の役員や自治会の関係者、町内各駐在所員らによる地域安全パトロールが実施されました。

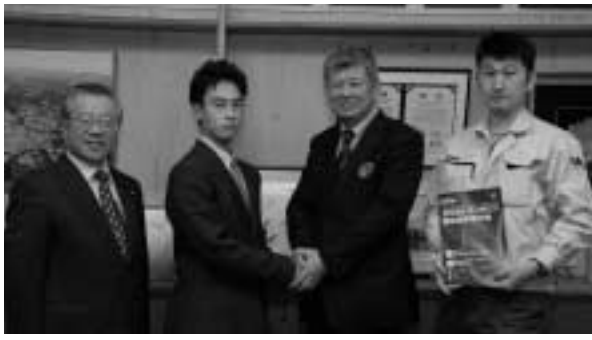


まちのわだかい

第51回全日本トランポリン選手権大会
笹本陸君が町長に健闘を報告

11月末に静岡県島田市で開催された『第51回全日本トランポリン競技選手権大会』に出場した、津別トランポリンクラブの笹本陸君（北見柏陽高校2年）が、12月26日、競技結果を佐藤町長に報告しました。

定められた大会における演技点数上位65人のみが出場できる男子個人に、北海道からただ一人出場した笹本君の成績は36位。



優勝者の上山容弘選手（ロンドンオリンピック5位入賞）をはじめ、世界選手権大会代表や全日本強化指定選手など強豪ぞろいの中で、笹本君の健闘が光りました。

地域おこし協力隊のいきいき日記

その15 シカを捕まえる

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

おとし、わな猟の狩猟免許を取りました。お肉も自給する生活を目指してシカを獲るぞ！そんな奮闘むなしく1年経って、結果は残念ながらゼロ。わなの上をさんざん踏んずけられながらも、一頭もかからず悔しい思いをしました。

かつて大学で野生動物を研究し、ネイチャーガイドとして森の動物を観察してきたから、シカを獲るのなんて楽勝。ちょ

つとそんなおごりがあつたことは認めます。でもシカを獲ることがこんなに難しいとは。同時にわなをしかけるにも、より深い生態の理解と観察、上手にわなを作動させるための研究が必要だということも身に染みしました。自分が学んできたことの未熟さを色々と思いつらされる今日この頃。へこむこともあるけれど、自然のことは知れば知るほど面白い。

森や川を歩いたり、野菜を作ったり、津別の色々を楽しむのが目標。あいおい物産館でそば打ちをしています。